

新橋市民の森の生き物たち 2017

—5ヶ年計画の2年目の活動—*1

新橋自然観察クラブ*2

＜新橋市民の森愛護会*3＞

活動基本方針

四季を通じて自然観察と安全をテーマにした緑地の保全を行い、地域住民との共同活動と外部への情報発信を行う。

1. 具体的な活動方針

- ◎生き物の種類を増やそう。
- ◎全ての生き物に目を向けよう。
- ◎植物、昆虫、野鳥の観察を通して生き物のつながり(食物連鎖)を考えながら保全方法を考えよう。
- ◎植物を駆除する場合も数株は必ず残そう。
- ◎各種団体との良好なコミュニケーションに努めよう。
- ◎イネ科、カヤツリグサ科などの地味な植物やつる植物なども野鳥、昆虫、土壤生物の食料になることを認識しよう。

2. 新橋市民の森のP D C A

- P:生き物の種類を増やそう。
観察を通して保全方法を考える。
- D:草刈り、保護対象の明確化(杭打ち等区切り)。
- C:指標生物を決め個体数のカウント。
- A:改善が見られたら保全方法の継続。
改善が見られない場合は保全方法変更。

3. 他の市民の森や自然公園に出掛けて新橋市民の森と比較して生息している生き物の違いを確認しよう。

*1;新橋市民の森愛護会規約第4条(3)の活動

*2;指導者 倉川典夫、代表 飯山玲子、総務 筒井勝大(事務連絡先)、以下12名

*3;新橋市民の森愛護会;会長以下役員(原弥生台自治会)、以下原弥生台自治会世帯会員数約180、新橋西自治会会員6名、新橋上自治会会員7名、新橋中自治会会員2名、新橋下自治会2名、堂山自治会2名

2016 年度調査結果； (巡回・点検報告会/学習会, 2017.3.2)

配布資料；新橋市民の森の生き物たち—2016 年の観察—, 70pp

結果 1；

【保護したい生き物】

(草本 16) キンラン

(草本 17) ギンラン

(草本 21) セリ (春の七草、キアゲハの食草)

(草本 26) ヒトリシズカ

(草本 27) フタリシズカ

(草本 30) ジュズダマ(ヒカゲチョウ、セセリチョウの食草)

(草本 34) ハルジオン(チョウが吸蜜に来る)

(草本 35) エノコログサ(小鳥の食物)

(草本 37) スズメノカタビラ(小鳥の食物)

結果 2；

【観察された主たる生き物たち 2016 の補足説明】

(表紙の写真 左上) ショウジョウトンボ 5月～9月頃に谷戸地の止水域で見られる。数は少ない。

(表紙の写真 右上) オオシオカラトンボ 6月～9月頃に谷戸地の止水域で見られる。谷戸地の優占種で何故か観察できるのは殆どがオスです。

(表紙の写真 左下) ラミーカミキリ 5月～7月頃に食草のカラムシ類の葉上で見られる。

(表紙の写真 右下) ヒメシロコブゾウムシ 7月樹林地で見られた。

学名の話 学名はラテン語です。

ヒト(人間)の学名はホモ・サピエンス

トキはニッポニア・ニッポン 朱鷺は 出島のオランダ商館の医師だったシーボルトが、日本産の朱鷺のはく製をライデン博物館に送りました。この標本にテミンク館長が *Ibis Nippon*(Temmick, 1835)の学名を付け種として認定。後に *Nipponia nippon* になりました。シーボルトの奥さんお滝さんが好きだったアジサイをお滝さんから取って *otakusa* と命名したが、現在は使われていないそうです。

2016 年度に新橋市民の森で観察された主な生き物たちの解説は以下です。

- (草本1) アカネ 黄色や赤に染める。染料に使われる。市民の森外周の金網にある。
シルクやウールはタンパク質なのでよく染まる。木綿などはタンパク質を付ける前処理が必要。
- (草本2) ウラシマソウ<保護種> 苞の中に伸びた附属体の先端が細く糸状に伸び浦島太郎が釣り糸を垂れている姿に見立てて名付けられた。
同じ科で園芸種ではカラー、アンズリューム、野生種ではミズバショウ、ザゼンソウなども同じ仲間。
- (草本3、5) マムシグサ<保護種> 市民の森にはマムシグサとカントウマムシグサの両方ある。
- (草本7) ヤブカンゾウ<保護種> 谷戸地にはノカンゾウもあります。
- (草本8) オモダカ<保護種> 田んぼの植物 葉がへら状のへらオモダカというのもある。
また、同じ時期に紫の花を付けるコナギというのもある。ぜひ見つけてください。
- (草本11) キランソウ 別名民間薬として諸病を治すことから医者いらず、地獄の釜の蓋とも呼ばれる。ジュウニヒトエも同じ仲間です。この園芸種がアジュガ。
- (草本20) シロツメクサ 弘化3年12代将軍家慶のころオランダから献上されたガラス製品の破損防止のための詰め物として利用されたのでこの名がある。
- (草本21) セリ 春の七草の一つ
セリ、ナズナ、ゴギョウ、ハコベラ、ホトケノザ、スズナ、スズシロ
- (草本26) ホトギス 9行目 ホトギスと台湾ホトギスの交配種も「ホトギス」として出回っている。「市民の森」のものはこれだと思ふ。
- (木本4) モミジイチゴ<保護種> 言葉で説明する場合 黄莓と木莓が同じなので黄色い莓と説明が必要。
- (木本5) キブシ<保護種> 9行目 果実を染料の…… お歯黒の原料にした。
- (木本6) コナラ<保護種> シイタケのホダギに利用される。
- (木本8) 一部保護シュロ 雑木林のやっかい物だが鳥が巣材に利用する。
釣り鐘の撞木(しゅもく:突き棒)に利用。同じ音の手偏の撞木は僧侶が読経のとき持ってかねをたたくときに使う物。シュモクザメのシュモクはこちら。
- (木本11) ヒイラギ<保護種> 虫喰いの葉があつたらテントウノミハムシの仕業
- (木本15) ミツバアケビ<保護種> (葉はアケビコノハの食料、実は小鳥の食料)
- (木本16) ムラサキシキブ<保護種> (小鳥の食料)

野鳥、昆虫(トンボなどの水生昆虫以外)は植物を保護すればいいのでとくに保護はしない。

- (鳥13) ウグイス 日本の三鳴鳥 ウグイス、オオルリ、コマドリ
ウグイスの鳴き声ホーホケキョ(法・法華経)を人の言葉に変えた「聞きなし」という。

- (鳥14) エナガ 10行目 学名は長い尾をもつカラ類を意味する(間違い)学名ではなく英名 Long-tailed Tit
- (鳥15) メジロ 聞きなしは長兵衛忠兵衛長忠兵衛
- (鳥19) ハクセキレイ 泉区内ではセキレイ科はハクセキレイ、キセキレイ、セグロセキレイ、タヒバリ、ビンズイの5種が観察されている。
ビンズイは新橋天神の森で初めて観察しました。
- (鳥23) コジュケイ 大正10年代にキジが少なくなり狩猟鳥として中国から移入された。
東海道保土ヶ谷宿上方見附近近くに放鳥の感謝碑がある。
- (鳥24) キジ 国鳥なのに狩猟鳥 国鳥を指定している法律はない。
狩猟の対象種は法律で決まっている。
- (鳥25) ガビチョウ特定外来生物 神奈川県北部から全国に広まった。
- (トンボ1) クロスジギンヤンマ) <保護種> 止水域にすむ。一年中水田^{みず}んぼにしておく。
- (トンボ2) オニヤンマ 流水域にすむ。(水の流れがなくなるとゲンジボタル、サワガニとオニヤンマもいなくなる。)
- (トンボ3) シオヤトンボ<保護種> 止水域にすむ。一年中水田んぼにしておく。
- (トンボ5) オオシオカラトンボ<保護種> 個体数が多い。一年中水田んぼにしておく。
- (トンボ6) ショウジョウトンボ<保護種> 一年中水田んぼにしておく。
- (両生類・爬虫類2) ニホントカゲ<保護種>
- (両生類・爬虫類3) アズマヒキガエル<保護種> ニホンヒキガエルの亜種

【補遺】 分類 学名(ラテン語)は二名法 属名+種小名で表し亜種はその後に続ける。変種はvar.を付けその後に続ける。

植物界

	アカネ	ウラシマソウ	ヤブソテツ	スギ
界	植物界	植物界	植物界	植物界
門	被子植物門	被子植物門	シダ植物門	裸子植物門
綱	双子葉植物綱	単子葉植物綱	シダ綱	マツ綱
亜綱	キク亜綱	オモダカ亜綱		
目	アカネ目	オモダカ目	ウラボシ目	マツ目
科	アカネ科	サトイモ科	オンダ科	ヒノキ科
亜科				スギ亜科
属	アカネ属	テンナンショウ属	ヤブソテツ属	スギ属
種	アカネ	ウラシマソウ	ヤブソテツ	スギ

動物界

	カルガモ	ダイミョウセセリ	ニホントカゲ	ニホンヒキガエル
界	動物界	動物界	動物界	動物界
門	脊索動物門	節足動物門	脊索動物門	脊索動物門
亜門	脊椎動物亜門		脊椎動物亜門	脊椎動物亜門
綱	鳥綱	昆虫綱	爬虫綱	両生綱
亜綱				
目	カモ目	鱗翅目	有鱗目	無尾目
亜目			トカゲ亜目	ナミガエル亜目
下目			トカゲ下目	
科	カモ科	セセリチョウ科	トカゲ科	ヒキガエル科
亜科		チャマダラセセリ科		
属	マガモ属	ダイミョウセセリ属	トカゲ属	ヒキガエル属
種	カルガモ	ダイミョウセセリ	ニホントカゲ	アズマヒキガエル は亜種